

春日井市における登校支援への取組について

登校が困難となっている児童生徒は年々増加していますが、不登校になる理由は様々です。「学校生活にやる気がでない」、「不安や抑うつ」、「学業の不振」、「友人関係や親子関係」などが挙げられるほか、児童生徒本人にもそのきっかけや理由がわからないこともあります。

不登校の期間が長引くほど、生活リズムの乱れや社会的孤立などを理由に、将来的な自立への支援や社会復帰が困難になる傾向もあります。

本市では、不登校者への支援だけでなく、未然防止や行き渋りなどへの早期対応により、新たな不登校者を生まない取組も重要と考え、次で紹介している様々な取組により支援を行っています。支援に際しては、学校復帰のみを目標とするのではなく、子どもが自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することを目指しています。



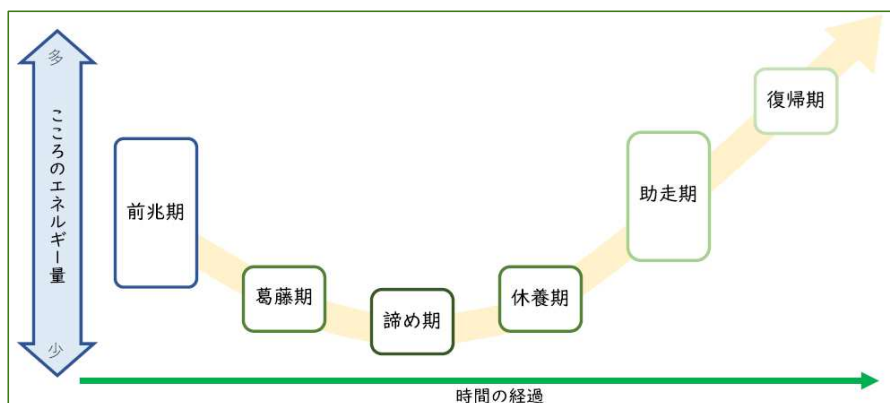
不登校って？

- 病気や経済的理由を除き、ある程度の期間何らかの要因や背景によって、学校に行かないか行けない状況です。
- 取り巻く環境によっては、どの子どもにも起こり得ます。
- 決して問題行動ではありません。

参考：文部科学省HP「フリースクール・不登校に対する取組」

「こころのエネルギー」の低下

不登校の子どもが多くが、何らかの要因で「こころのエネルギー」が低下している状態であると言われています。この状態の長短には個人差があるものの、時間の経過とともに、こころのエネルギーを回復させていく時期が訪れます。



上の曲線は、不登校の子どものこころのエネルギー量を示したものです。曲線の形や長さなどは子どもによって異なりますが、主に「葛藤期」から「復帰期」までの5つの段階に分けて考えることができ、それぞれの段階によって、対応の仕方や必要となる支援も変わります。

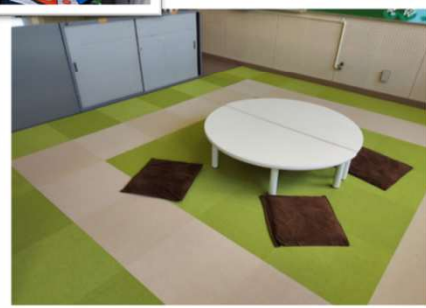
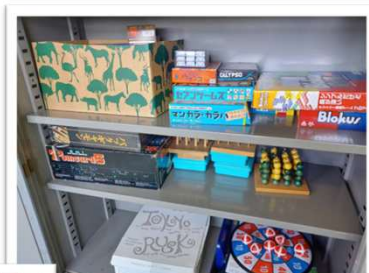
参考：令和8年度第1回「不登校をともに考える会」講演資料より抜粋

① 登校支援室

新たな不登校者をつくらないよう、初期対応を重点的に実施する場所として各中学校に設置しています。

教室復帰のみを目的にするのではなく、利用生徒が自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することができるように個々に応じた支援を行います。

令和7年度から、試行的に、小学校3校にも設置しています。



② 教育支援センター「あすなろ」

何らかの心理的理由により市内の小中学校に登校できない児童生徒に、学習の補充や体験活動等を行い、集団への適応能力を育成することで学校復帰を支援します。

相談日 月曜日から金曜日
相談時間 午前9時から午後3時
場所 中央公民館内
電話 0568-34-8421



③ 心の教室相談員（小学校）

各小学校に心の教室相談員を配置し、児童が抱える学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じています。

相談日や相談時間は、各小学校にお問い合わせください。

④ スクールカウンセラー

カウンセリングに関し専門的な知識と経験を有する者が定期的に各小中学校を巡回し、児童生徒とその保護者の相談に応じています。

相談日や相談時間は、各学校にお問い合わせください。

⑥ いじめ・不登校相談室

いじめで悩んでいる、または登校できない児童生徒とその保護者を対象として、電話と面接で相談に応じています。

⑤ スクールソーシャルワーカー

福祉に関する専門的な知識を有する職員が、問題を抱える児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けた支援を行います。



相談日	月曜日から金曜日
相談時間	午前9時から正午 午後1時から午後4時
場所	中央公民館内
電話	0568-34-8400

⑦ その他の支援の取組

● 保護者支援

登校できない児童生徒の保護者の方への支援として、不登校の理解を深めることや、不安の軽減につながる講演会を開催します。また、同じような悩みを抱える保護者同士のつながりを持つ場である「親の会」を、希望者に紹介します。

● メタバースによる

オンライン不登校支援

登校できない児童生徒の学びと支援の場の新たな選択肢として、メタバース空間を活用したオンラインの学びの場を提供し、児童生徒の社会的自立や学校復帰に向けた支援を行っています。

⑧ 公的相談機関等

春日井児童相談センター

【ホームページ】
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasugai-jiso/page1.html>
 【電話】0568-88-7501

すべての子どもが心身ともに健やかに育ち、その持てる力を最大限に発揮することができるよう、子ども及びその家族等からの相談に応じ、子どもの最善の利益を考慮し、最も適した援助や指導を行います。

愛知県精神保健福祉センター

【ホームページ】<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/seishin-c/>
 【電話】052-962-5377

精神保健の向上及び精神障害者の福祉の増進を図ります。

メンタルヘルス相談

【ホームページ】
<https://www.city.kasugai.lg.jp/kurashi/1033189/sodan/mentaru.html>
 【電話】0568-85-6172

精神科医師や臨床心理士が、うつ病、依存症、ひきこもり、自殺・自傷行為等のこころの健康に関することについて、本人又はその家族からの相談に応じます。

春日井市親子・若者総合相談

【ホームページ】
<https://www.city.kasugai.lg.jp/kurashi/1033189/sodan/1033817.html>
 【電話】0568-84-4600

児童の心身の発達や生活習慣等のこどもの養育や家族関係、不登校やひきこもり等の社会生活上の問題について、本人又はその家族からの相談に応じます。

少年サポートセンター春日井

【ホームページ】なし
 【電話】0568-56-7910

愛知県警察本部少年課が運営する当センターでは、関係機関（学校、児童相談所など）と連携しながら、少年相談活動、非行を含む様々な悩みを抱えた少年に対する継続補導活動、犯罪やいじめ、虐待などの被害に遭った少年等に対する被害少年支援活動、非行防止活動、広報啓発活動などを行います。

⑨ 民間相談機関等

春日井市不登校友達の輪

【ホームページ】
<https://ameblo.jp/hutoukou-tomodatinowa/>
 【電話】0568-40-0207、070-6414-5736

不登校の子を持つ親や家族が、孤立することなく、ともに前を向き、明るい未来に進む仲間を得ることを目的とし、不登校の親子を結ぶ活動を行っています。

特定非営利活動法人一服亭かちがわ

【ホームページ】<http://www.ippukuteikagitawa.com/>
 【電話】0568-29-7094

どんな方でも来ていただける地域の憩いの場として、次のような支援を行います。

- ・障がいのある児童、生徒、若者の居場所の提供
- ・不登校、ひきこもりの人たちの居場所の提供
- ・子育て支援、学習支援、社会的自立支援

特定非営利活動法人春陽 無料学習教室はるはる

【ホームページ】
<https://kanaharuharu2020.wixsite.com/mysite>
 【電話】080-9735-2786

特定非営利活動法人春陽は、ご家庭の収入や家柄、性別等などの区別なく、公平な教育の提供をモットーに、無料での学習環境を整備しようと立ち上げた春日井市民による団体です。
 無料学習教室はるはるでは、家庭教師について教わっていない小中学生を対象に、少人数指導による、子ども一人一人に合わせた学習支援を行います。